

- ❖ ゴルフクラブの硬さを測定する最も有効な方法と言われているのが 『振動数』
 - ü 1分間に何回揺れるかで計測します(単位は CPM (Cycles Per Minute))
- ❖ 同じ条件で、振動数が大きくなれば、硬いシャフトであると言えます
(図2-1、2-2を参照)



振動数計

- ❖ 前述のヘッド重さの変化と長さの変化で、『振動数』も変化します
- ❖ つまり、ヘッドの重さを重くすると、シャフトはしなりやすくなります
- ❖ と言うことは、全ての番手で、シャフトの硬度を変化させないと
同じ感覚で振れることにはならないということになります
！このことが一番重要



- ü 例えば、すごく自分に合っているドライバーのシャフトがあるとします
- ü それを、5番ウッドにそのまま挿すとそのドライバーと同じ感覚にはなりません
(ドライバーと5番ウッドのヘッド重量差は、約 20g)
(図 2-1、2-2、2-3 をもう一度思い出してください)